

東海連合支部 第126回山登り会登山 報告

日 時： 2019年8月26、27日
行 先： 木曾駒ヶ岳
標 高： 2996m
登 山 口： 長野県上伊那郡宮田村
累計標高差： 400m
歩行距離： 4km（全行動時間1日目約5時間、2日目約5時間）
参 加 者： （あいうえお順）阿部（雅）さん、池原さん、石川さん、小林さん、佐野間さん、清水さん、三浦さん、茂木

今回の山行は3,000m級でもロープウェーで楽に登れると人気の木曾駒ヶ岳。土日の混雑は悪名高いのでそれを避けさらに多くの健脚は日帰りなので早朝や夕方混雑する、なので一泊することで混雑を時間差攻撃で避けている行程とした。前後の悪天候の間を今回の登山日程に合わせたように晴天が挟まった幸運で山行は始まる。

ロープウェーまでの道路は一般車進入禁止なので、手前の“菅の台バスセンター”を集合地点とした。ここからロープウェー下駅の“しらび平”までバスで行き、ロープウェーで一気に上駅の“千畳敷駅”まで登る。千畳敷駅を予定通り12時に出発。（標高2,650）ここから千畳敷カールの下部にある“剣が池”へ下る。この道はカールを巡る遊歩道で登山客より親子連れ等の方が多く、10分程で駒が池の畔にでる（12:15 2,610m）。差し渡し2~30m程の小さな池だが、カールの伏流水が湧き出ているので澄み切っている。池の向こう側はカールが広がり、この遊歩道の延長とさらに上に向かってハイマツの間を谷筋に白い岩の登山道が見える。それらを眺めたり、高山植物の写真を撮ったりしながら昼食を摂り、12時半頃出発する。緩い登りを20分程行くと千畳敷駅への遊歩道と“乗越浄土”への登山道の分岐“八丁坂分岐”となる。（12:52 2,660m）ここで石川さんが体調不良を訴えられた、前日までのある原稿の執筆の無理と高度が災いしたらしい。ご本人もここからの行程は無理と判断され、無念のリタイアとなった。ここから千畳敷駅まではほぼ水平移動だが石で足元が不安定な事を見



千畳敷駅前出発



千畳敷カール



宝剣山荘

越して三浦さんと佐野間さんが駅までの随伴を買って来てくれた。後で分かった事だが、私が思っていたより重篤でお二人の介助は全く臨機適切で有難かった。お二人には後から来ていただくことにして、先に進ませて頂く。（13時頃?）

進むにつれて勾配はきつくなる。何度か登っているが今回は背中や腰に来る、今までになくきつく感じる、歳取ったな。休み休み詰めてゆき、最後は鉄の階段を登りきるとやっと乗越浄土だ。（14:32 2,860m）200m位向こうに宝剣山荘がある、記念撮影などして一寸休み、宝剣山荘にチェックインした。（14:39）

ここから宝剣岳は往復 1 時間位、折角なので阿部さん、小林さん、清水さんにはここに荷物をデポしてやつつけてもらうことにした。私は後からやって来る 2 人の連絡係として残ることにした（半分口実、実は腰が疲れた）。やがて三浦さん、佐野間さんも到着、石川さんは千畳敷でトイレに行ったりして 20 分程休んだら大分楽になられたとの事で安心する。そのうち宝剣組も戻り、食事前の軽い酒盛りが始まった。元々酒には弱い私はこのところの風邪気味もあってか少し飲んだだけで貧血気味となった。5 時から食事、元気な老人達は食堂で酒盛りの続きだが私は部屋で一度ゴロリした後、皆の歓談の仲間入りをした。21 時消灯、山でしか見られない星空を堪能した人も。

2 日目は 5 時半に朝食。その前に早々にご来光を拝んだ人も。7 時の出発予定であったが早めに越したことはないので、6 時半に出発した。今のところ陽はさしていないが乾いた涼しさで、雲海があり天気は良さそうだ。緩い登りを 30 分程で中岳到着。(7:10 2,925m) ここで適当に休んで駒ヶ岳手前のコルまで下る。(7:35 2,870m) 一泊とさらに早出もしているの、時間はあまり気にしないで済む。再び適当に休んで駒ヶ岳への最後の一登り。



朝焼けの富士山



駒ヶ岳と御嶽 (奥)

中岳に着いたら三浦さんが石川さんと連絡を取ってくれて、昨日の内に無事ご帰宅されたとの事で安心した。中岳では 15 分程のんびりしてから (9:25~9:40) 下る。宝剣山荘脇でも 30 分位休み、乗越浄土に 10 時 20 分到着。これから急なガレ道、足元に注意しながらゆっくりと下る。

20 分程登ると突然駒ヶ岳神社の屋根が現れる (多分 8 時頃 2,956m)。ここからは 360 度見渡せる。幸い雲海の上に曇はないので、大きな山はよく見える。北西方向で近くに御嶽山、北には北アルプス、北東には八ヶ岳、東に南アルプスその奥に富士山等、お天気運は良かった。それぞれ眺めを楽しみ、記念撮影をして 8 時 40 分山頂を後にする。コルまで下がり、中岳への登りに備えて行動食をお互いにやり取りしながら 10 分程休む。(8:55~9:05)



駒ヶ岳山頂



木曾駒ヶ岳ルート図 A

約 1 時間かけて千畳敷駅に到着。(11:25) 時間が早いのでここで解散し、それぞれの楽しみで過ごしてもらうことにしたが、結局皆ロープウェー、バスを乗継ぎ、菅の台バスセンターまで一緒だった。その後バスセンターの近くでそれぞれ駒ヶ根名物のソースカツ丼絡みのメニューを食べてから解散した。今回は 1 泊で時間的には十分余裕を見込んだので途中時間を気にせず、必要以上に休みながら行動した。そのため、区間毎の時間はマタマチだったにも拘わらず最後の時間は遅れることなく終了した。4 時頃には雨が降り出したが、山行中はよい天気でした。4 時頃には雨が降り出したが、山行中はよい天気でした。4 時頃には雨が降り出したが、山行中はよい天気でした。

茂木記